

平成27年度事業報告書

現在の社会福祉法人を取り巻く経営環境は、介護報酬等の大幅な減額改定など、厳しい状況のもとにあるが、当事業団は、平成25年に策定した「事業団中長期経営計画」に基づき、3年目を迎えた平成27年度においても「良質な福祉サービスの継続的・安定的な提供」と「経営基盤の更なる強化」を実現するため、積極的に各種事業に取り組み、成果を残すことができた。

はじめに、県立社会福祉施設等の指定管理者指定については、平成27年に実施された「太陽の国病院」を含む指定管理10施設の更新指定申請において、これまでの実績等が高く評価され、引き続き平成28年度から5年間の再指定が決定し、全施設の継続的な経営が可能となった。

次に、「飯坂ホーム移転改築事業」については、平成27年8月中旬に完成、9月に開所式を挙行し、法人初の「ユニットケア」による新たなサービス提供に移行した。

次に、介護・福祉人材の確保については、人材確保が極めて厳しいなか、精力的な学校訪問に加え、資格取得研修の充実を図るなど、魅力ある職場づくりと積極的な人材確保、育成に取り組み、新採用職員45名を確保することができた。

一方、地域福祉の推進については、多様化する地域ニーズに応えるため、「基幹相談支援センターけんなん」を中心とした包括的な福祉サービスを提供するとともに、市町村や地域自立支援協議会等との積極的な連携を図った。併せて、平成27年度末に、その役割を終えた「やぶき自立支援寮」の建物を有効活用するため、平成28年度より「共同作業所たいしん」を移転し、利便性のよい身近な社会資源の一つとして、更なる事業の拡充を図ることとした。

最後に、震災から5年が経過した現在も仮設施設での避難生活を余儀なくされている「浪江ひまわり荘」については、狭隘な居住環境や利用現況を踏まえ、暫定定数を導入するなど、更なるサービスの向上を図るために、継続して施設機能の改善に取り組むとともに、将来のあり方の検討に着手した。

このように、平成27年度の法人運営は概ね順調に推移し、収支についても、10年連続で「黒字」を計上することができた。

平成27年度に実施した主な事業は次のとおりである。

I サービス提供について

1 良質な福祉サービスの継続的・安定的な提供について

(1) 指定管理者施設（10施設）の更新指定の獲得

- ア 障害者支援施設（けやき荘・かしわ荘・かえで荘・ひばり寮・ばんだい荘あおば）
- イ 障害児入所施設（ばんだい荘わかば）
- ウ 医療機関（太陽の国病院）
- エ 太陽の国共通施設（太陽の国厚生センター・中央公園・勤労身体障がい者体育館）

(2) お客様主体のサービス提供の推進

- ア 権利擁護の推進及び虐待防止法に基づく防止策の徹底

- (ア) 「気づき」を促す研修等の開催及び受講

- (イ) 権利擁護等にかかる実態調査の実施

- (ウ) 苦情解決制度を活用したサービスの改善

- イ 飯坂ホームの移転改築に伴うユニットケアへの移行

- ウ 個別支援の充実と満足度の向上

- (ア) 多様な関係機関と連携した個別支援の充実

- (イ) 満足度調査の実施及び検証

- エ 福祉サービス第三者評価事業の充実

- ・施設サービス評価外部委員によるモニター活動の実施

- オ お客様の健康管理支援体制の強化

- (ア) 医療機関と連携した介護、支援及び栄養ケアマネジメントの実践

- (イ) 感染症予防対策の徹底

- カ 地域生活移行の推進

- (ア) 地域生活移行計画の見直し

- (イ) 救護施設における居宅生活訓練事業の実施

- (ウ) グループホーム増設計画の検討

(3) サービス向上のための人材育成

- ア ユニットリーダーの育成

- イ サービス向上研修の充実

- ・事業団研修方針に基づく各種研修の実施

- ウ 資格取得研修の充実

- (ア) サービス管理責任者等の養成（県委託事業）及びフォローアップ研修の実施

- (イ) 介護職員等の「喀たんの吸引等」に係る研修の実施

(4) リスクマネジメントの充実（事業団リスクマネジメント会議）

- ア 実践と検証の積み重ねによる事故防止対策の徹底

- (ア) 安全な居住環境の確保

- (イ) 事故事例の発信と施設間相互検証の実施

- (ウ) 感染症及び食中毒の発生防止対策の徹底

- イ 地域支援に係る個人情報保護の徹底

2 地域社会から求められる福祉サービスの実践について

(1) 地域との連携及び地域福祉の推進

- ア 基幹相談支援センター（白河市、矢吹町、西郷村、中島村、泉崎村からの委託事業）等による地域自立支援協議会の支援
- イ 相談支援事業の充実
 - (ア) 基幹相談支援センターけんなん
 - (イ) 地域生活支援センター（いなわしろ・けんなん）
 - (ウ) 県南障がい者就業・生活支援センター
- ウ 地域への講師等派遣の継続
- エ 地域ボランティア及びNPO法人等との連携強化
- オ 地域イベントへの積極的な参加
- カ 地域ネットワークを活用した情報の共有

(2) セーフティーネット機能の充実

- ・緊急支援及び災害弱者等の適切な受入

(3) 短期入所者及び通所者の積極的な受入

II 経営管理について

1 経営基盤の強化について

(1) 運営事業の見直し等

- ア 飯坂ホームの移転改築（平成27年9月開所）
- イ やぶき自立支援寮（宿泊型自立訓練事業所）の事業廃止
- ウ 仮設施設に伴う浪江ひまわり荘の暫定定数の導入

(2) 組織体制及び職員配置の見直し

- ア 事務局管理体制の強化
 - (ア) 部・課の名称変更及び改編
 - (イ) 看護部の新設（各施設看護職の連携強化）
 - (ウ) リスクマネジメント体制の充実
- イ 飯坂ホームの職員増及びユニットリーダーの配置

(3) 人材の確保及び育成等

- ア 人材の確保
 - (ア) 学校訪問活動の継続
 - (イ) 職場見学会及び新規採用者オリエンテーションの実施
 - (ウ) 労働契約法に基づく継続雇用制度への対応
- イ 人材の育成
 - (ア) キャリアパスの制定
 - (イ) 資格取得の支援
- ウ 人事考課制度の更なる醸成

(4) 選ばれる「施設づくり」の実践

- ア 利用者及び家族から選ばれる安心で安全な「施設づくり」
 - (ア) 感染症予防のための洗面所水栓の自動化

- (イ) 事故防止のための老朽化設備、備品の更新
 - イ 若者が働きなくなる「職場づくり」
 - (ア) 給与体系及び福利厚生の継続的な見直し
 - (イ) 認定クラブ支援事業（7クラブ認定）及び施設対抗駅伝大会の実施
 - ウ 事業団プロモーションビデオの作成
- (5) 財政基盤の強化
 - ア 将来の人件費増に備えた積立金の造成
 - イ 改築及び大規模修繕に備えた積立金の造成
- (6) 各種業務の合理化及び省力化の推進
 - ア 各種会議、委員会等の統廃合を含めた在り方の見直し
 - イ 業務の電子化及び機械化の推進
 - ・施設医務室における「太陽の国病院電子カルテ」の活用
 - ウ 更なるアウトソーシングの推進
- (7) 省エネルギー対策の推進
 - ア 新たな省エネルギー対策の検討
 - イ 太陽光発電設備の設置に伴う省電力化（太陽の国病院）

2 給与体系の見直し及び労働環境の改善について

- (1) 給与体系の見直し
 - ア 初任給調整手当等の引上げ
 - イ 処遇改善手当の継続支給
 - ウ 賞与への人事考課の反映
 - エ 人材確保のための給与制度の総合的な見直し
- (2) 次世代育成及びワークライフバランスの推進
 - ・ 一般事業主行動計画の更新（時間外労働の削減及び有給休暇の取得促進等）

3 防災・防犯・安全管理体制の強化について

- (1) 防災訓練等による防災体制の検証及び強化
 - ア 総合防災訓練の継続実施
 - イ 地域自治体との防災協定締結の推進
- (2) 防災設備及び防災備品等の拡充
- (3) 防犯体制及び防犯設備の充実

4 東日本大震災・原発事故からの復興について

- (1) 浪江ひまわり荘の継続支援及び将来のあり方の検討に着手
- (2) 県及び地域自治体と連携した除染事業の実施

5 老朽化施設の対応について

- ・次期施設改築の検討